

子どもたちには夢があります。未来があります。可能性があります。  
私たちの大切な宝である子どもたちが、自らの力で輝き、地域や社会、未来を照らす光となるように、奈良市ではさまざまな教育を行っています。  
奈良市教育だより『きらめき☆奈良』では、奈良市の教育を紹介します。



子どもたちが安心して学校に通い、学び、笑顔で家に帰ってくる—そんな毎日を送ることができるようにすることが何よりも大切です。  
しかし、現在はインターネットやスマートフォンなどの情報化社会が進んでいく中で、子どもたちを取り巻く状況は複雑化し、人間関係に起因するいじめなどの問題は社会問題化しています。



- 今回は、このいじめに対する奈良市の取組を紹介します。
- 奈良市のいじめ問題の現状はどのようになっているのか。
  - いじめ対応教員はどのような役割を果たすのか。
  - いじめが起きたときにはどのような対応をしているのか。



いじめは決して許されないことであり、誰にでもどの学校でも起こり得るものです。学校や教育委員会、家庭や地域が連携して、子どもたちの「命と心」を守っていかなくてはなりません。

## 2・3面 特集

# 組織で子どもを守る ストップいじめならプラン

## 4面

★奈良市の学生が海外に！  
★教育長の「見る・聞く・語る」  
★若手教員に期待すること

## 奈良市の学生が海外に！ トビタテ留学JAPAN派遣留学生にインタビュー

奈良市では、地域企業等でのインターンシップと留学を組み合わせたプログラムを通じて、グローバルな視点を持ち、地域で活躍する人材を育てるために「トビタテ！留学JAPAN」事業を行っています。今年度、奈良市の第1期生の大学生6人がアフリカや欧米に留学します。

西井孝輔さん（神戸市外国語大学）と佐藤可奈子さん（奈良県立大学）も奈良市の大学生です。西井さんは「保育園児の頃、市内在住のバングラデシュ人の男の子と友達になり、海外に興味を持ちました。」と話してくれました。9月から翌年の2月までカリフォルニアへ行き、文通で日米の中学生の文化交流ができないかと考えています。



派遣留学生壮行会（派遣留学生、支援企業・大学、奈良市）

詳しくはコチラを Check!!

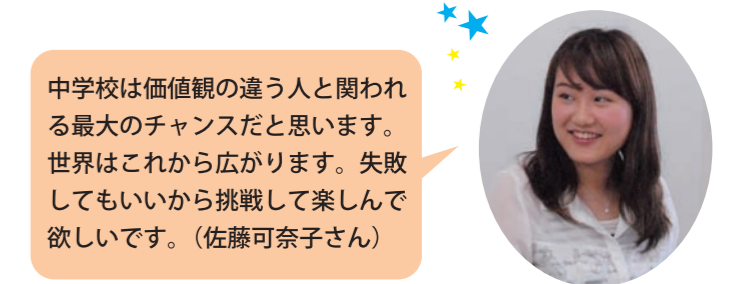
<https://www.facebook.com/tobitatenara>

<https://twitter.com/tobitatenara>

佐藤さんは「小学生の時から海外経験のある友達が多く、自然と海外へ行きたいと思うようになりました。大学生の今が海外へ行けるラストチャンス。でも、選考に落ちるかもしれない、応募への迷いもありました。エクアドルに留学中の友人の『迷っているなら絶対チャレンジしたほうがいい』という後押しもあり、今回応募しました。」と語ってくれました。8月から12月までハワイへ行き、ハワイらしさを守りつつ観光が発展した訳を調査し、奈良の町づくりに生かせる方法を考えます。



小中学生の時に、いろんな世界を知っておいて欲しいです。やりたいことは全部やってみてください！（西井孝輔さん）



中学校は価値観の違う人と関われる最大のチャンスだと思います。世界はこれから広がります。失敗してもいいから挑戦して楽しんで欲しいです。（佐藤可奈子さん）

## 教育長の「見る・聞く・語る」 若手教員に期待すること

奈良市では、教育委員会の経験豊かな教員が小中学校を訪問し、若手教員に対して個別指導を行っています。中学校では今年度から、対象者を初任者から20歳代の経験年数4年未満の教員まで広げて実施しています。

5月16日に若草中学校を訪問し、理科の大澤佳奈子先生と英語科の坂本交司先生の授業を見ました。



若草中学校の生徒を見守る中室教育長

大澤先生は「この研修で授業を見てもらうことは刺激になり、自分で気づかない部分に気づくことができます。」と述べてくれました。坂本先生は「昨年度は3回の訪問研修を受けました。次の訪問までにご指摘いただいた部分を改善してよりよい授業をしよう、そのために今日できることから取り組んでいこうと、常にモチベーションを高く保つことができました。」と語ってくれました。  
若手の先生方は、この教員個別訪問研修や教育センターで行う研修等を利用して授業力の向上に力を注いでください。自分で時間を見つけ、しっかりと学ぶことが大切です。この研修は全国的にも珍しい奈良市独自の取組です。学んだことを数年後により若い先生に伝え、良き指導者・助言者として現場で活躍してもらいたいと思っています。

きらめき☆奈良については、[奈良市教育だより](#)

[記事に対するご意見や感想等がございましたら、下記までお知らせください。](#)



おはよう おかえり こんにちは  
声かけ 気かけ 笑顔かけ  
守ろう、地域の子どもたち  
毎月17日は「子ども安全の日」です。

奈良市教育委員会事務局 教育政策課

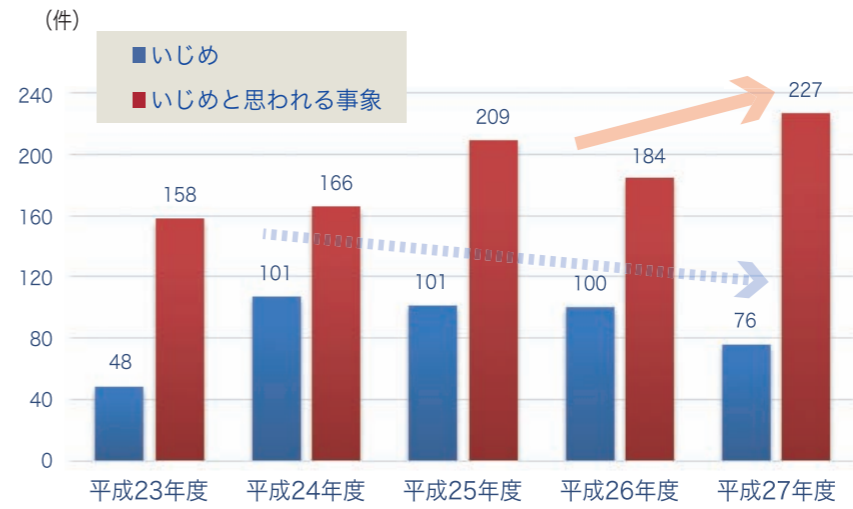
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

Tel.0742-34-5386 Fax.0742-34-4597

いじめ問題、奈良市の現状

奈良市教育委員会が独自に行っている調査によると、「いじめ」の認知件数はここ数年減少しています(左表)。しかし、嫌がらせや威圧を含めた「いじめと思われる事象」の認知件数は「いじめ」の認知件数より遥かに多く、増加傾向にあります。また、実際に、いじめの芽と考えられる人間関係のトラブルに関する報告も増えています。

奈良市のいじめ等の認知件数



児童生徒の行為・指導内容報告書(奈良市月例報告)による

いじめは全ての児童生徒に起こる可能性があります。いじめを起こさない環境づくりと発生後の早期対応等、迅速で適切な指導が重要です。そこで本市では今年度から、各学校に対して、いじめの芽やいじめと思われる事象も積極的にいじめと認知して指導することを求めています。さらに、子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域が連携していじめをなくす取組を一層充実させたいと考えています。

いじめ対応教員の役割

今年度より全ての市立学校に「いじめ対応教員」を位置づけました。教育委員会はいじめ対応教員のスキルアップを目的に毎月「いじめ対応教員定例会」を開いています。

各校でいじめが発生した時には、いじめ対応教員が中心となってその対応にあたります。なお、いじめ対応教員は次の役割を担います。

いじめ対応教員の役割

- ①未然防止に力を入れる学校づくり
- ②いじめの芽の早期発見
- ③校内のいじめ問題への組織的対応
- ④被害児童生徒のダメージの軽減とケア
- ⑤関係した児童生徒の追跡調査と再発防止
- ⑥教育委員会や専門家・保護者・地域との連携



いじめ対応教員定例会の様子



学校訪問の様子

(校長・いじめ対応委員と教育委員会の面談)

いじめ防止生徒指導課では、『ストップいじめならプラン』と称して組織的にいじめの未然防止や対応強化を図っています。指導主事や学校応援サポーター(校長OB・警察OB)、新たに配置したスクールソーシャルワーカーが全ての市立学校を訪問し、取組や対応を確認しています。

子ども同士のトラブルやいじめの情報が入ると、学校は奈良市版「いじめの問題チェックシート」に基づき対応します。発見した教員は、いじめ対応教員や校長・教頭等と複数でいじめかどうかを判断し、よくあるトラブルとしていじめを見逃さないようにします。いじめと判断した場合は、速やかに「いじめに特化した校内委員会」で対応を検討し、保護者と連絡を取りながらいじめの解消に努めます。解消後も学校と教育委員会が連携して子どもの様子を共有し、再発を防ぎます。

実際に起きたいじめ ～LINEへの書き込み(中学校での事例)～

発見

生徒から、「LINEのグループトークに悪口を書かれているようだ」と担任へ相談がありました。担任と保健室の教員がさらに詳しく話を聞くと、「誰の事かは特定できない表現で、自分のことを中傷する書き込みが発信されている」とのことでした。実際の書き込みの内容から学校はいじめと断定しました。

対応

学年全体で「いじめアンケート」を実施したところ、学校生活でも冷やかしからかいがあることが新たに分かりました。回答した生徒からも聞き取りを進め、関係した生徒全員への指導と家庭訪問を行い、学校が生徒間・保護者間の謝罪の場を設けました。また、各生徒の家庭訪問の際に保護者の前でLINEに投稿された書き込みを生徒に削除させました。

解消

複数の学級の生徒が関係していたため、学年全体に関わるいじめと捉え、この事象を自分たちの問題として考えさせ、再発防止を訴える学年集会をしました。その後、道徳や学活の時間を使って人権学習とLINEを始めとするSNSの使い方について情報モラル教育に取り組み、再発防止に努めています。

上の事例は、市立学校で実際に起きたものです。他のいじめについても校長・教頭・いじめ対応教員と学年・生徒指導主任、保健室の教員、スクールカウンセラー等を含む、「いじめに特化した校内委員会」を数回開催して情報を共有し、方針や手順を検討して、教育委員会とも連携しながら、組織的に対応しています。

お子様や周りのお友だちに次の様子はありませんか？

- ・朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- ・食欲がなくなったり、だまって食べるようになる。
- ・勉強しなくなる。集中力がない。
- ・家からお金を持ち出したり、必要以上のお金をほしがる。
- ・学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれている。
- ・ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- ・パソコンやスマホをいつも気にしている。



<いじめのサイン発見シート(政府広報・文部科学省)より一部抜粋>

こまったとき、話をきいてほしいときの電話相談(児童生徒・保護者のみなさん)



いじめ防止生徒指導課の吉原です。私たちがお話を聞きます。名前を言わずに相談できます。

ストップ いじめ ならダイヤル  
奈良市 いじめ防止生徒指導課  
0742-93-8463  
(月～金：9:00～17:00)

すこやかテレフォン  
なら「いのちの電話」協会  
0742-35-1002  
(月～金：18:00～21:00)  
土・日・祝：10:00～16:00)

奈良市教育センター  
教育相談総合窓口  
0742-93-8199  
(月～金：9:00～17:00)

18歳までの子ども専用電話  
「チャイルドライン」  
チャイルドライン支援センター  
0120-99-7777  
(月～土：16:00～21:00)